

○モーバー錠, ▼オークル錠 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】アクタリット actarit 【分類】抗リウマチ剤 (DMARD)

【単位】○100mg/錠

【常用量】300mg/日

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】代謝を受けずほぼ100%尿中へ未変化体として排泄されるため減量して慎重に投与 (5)

【その他の報告】腎障害患者では腎障害が悪化するおそれがあるため慎重投与 (1)

HD 前日の寝る前に100mgで蓄積性なし (秋山雄次: 日臨免疫会誌 34: 485-491, 2011)

【保存期CKD患者への投与方法】代謝を受けずほぼ100%尿中へ未変化体として排泄されるため減量して慎重に投与 (5)

【特徴】血管新生の抑制, 細胞接着の抑制および炎症性サイトカイン・蛋白分解酵素の産生抑制作用により抗リウマチ作用を示す。

【主な副作用・毒性】ネフローゼ症候群, 間質性肺炎, 再生不良性貧血, 汎血球減少, 無顆粒球症, 血小板減少, 消化性潰瘍, 出血性大腸炎, 腎機能異常, 肝機能異常, 腹痛, 嘔気・嘔吐, 口内炎, 下痢, 味覚異常, 過敏症, めまい, 脱毛, 視力障害など

【吸収】消化管からほぼ100%吸収される (1) 透析患者では吸収が遅延する (浜田勝生: Progress in Medicine 15: 1687-91,1995)

【F】72~100% [animal] (Sugihara K, et al: Arzneimittel Forsch 40: 800-5,1990)

【tmax】約2hr (1)

【代謝】代謝は受けない (1,塩川優一, 他: 臨床医薬 7:19-35,1991) 肝代謝酵素を誘導しない [ラット] (Sugihara K, et al: Arzneimittel Forsch 40:806-10,1990)

【排泄】尿中未変化体排泄率ほぼ100% (1,塩川優一, 他: 臨床医薬 7:19-35,1991) 尿中回収率ほぼ100% [ラット] (Sugihara K, et al: Arzneimittel Forsch 40: 806-10,1990)

【t1/2】0.86±0.15hr (1)

【蛋白結合率】17~20% (Sugihara K, et al: Arzneimittel Forsch 40: 800-5,1990)

【Vd】30.1L/body (1) 胎児, 乳汁への移行はごくわずか [ラット] (Sugihara K, et al: Arzneimittel Forsch Drug Res 40: 806-10,1990)

【MW】193.20

【透析CL】透析クリアランスは約110mL/minで透析膜透過性良好 (浜田勝生: Progress in Medicine 15: 1687-91,1995)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない【O/W係数】油相には分配しない [1-オクタノール/水系, pH8] (1) 【pKa】3.94 (1)

【更新日】20190807

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。